

放課後等デイサービスひろがり 緊急時における対応

【緊急時の連絡体制】

- ◆職員への連絡は、職員連絡網、グループ LINE、携帯メールを用いる。
- ◆利用者家族への連絡は、普段連絡を取っている携帯電話、携帯メールにて行う。

【警報発令時の対応（大雨・台風・河川氾濫等）】

- ◆名古屋市（尾張東部）に「特別警報」が発令された場合は、休所とする。
(※「特別警報」は、「警報」の基準をはるかに超える数十年に一度の大災害が起こると予想される場合に出され、対象地域の住民に最大限の警戒を呼びかけるもの)
- ◆サービス提供時間中に「特別警報」が発令された場合は、原則として直ちに保護者の方にお迎えをお願いする。
- ◆名古屋市（尾張東部）に「大雨警報」「暴風警報」「洪水警報」が発令された場合は、情報を収集し、その都度状況を判断して対応する。
- ◆サービス提供時間中に、大手学区・昭和橋学区に「避難準備・高齢者等避難開始」の発令、もしくは「庄内川氾濫警戒情報」の発表があった時は、原則として保護者の方に早めのお迎えをお願いする。お迎えに来られない場合に限りデイの車で送る。
- ◆サービス提供時間中に、大手学区・昭和橋学区に「避難勧告」又は「避難指示（緊急）」の発令、もしくは「庄内川氾濫危険情報」の発表があった時は、直ちに避難所へ移動、もしくは1くみの場合は垂直避難を実施する。
水害時の避難場所：ひろがり1くみ・・・大手小学校
：ひろがり2くみ・・・昭和橋コミュニティーセンター
(状況によって、昭和橋小学校)

【地震発生時の対応】「震度5」以上の地震が発生、または警戒宣言が発令された場合

- ◆必要な場合は指定避難所へ避難し、子どもの安全を確保したうえで、保護者の方に連絡し、お迎えをお願いする。
避難場所：ひろがり1くみ-----大手小学校
ひろがり2くみ-----昭和橋コミュニティーセンター

(状況によって、昭和橋小学校)

(津波からの緊急避難時は掖済会病院職員住宅)

- ・どこに避難しているのかを、施設のドアに貼り紙をしておく。
- ・電話回線が通じない場合は、メール、災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板を利用して家族と連絡を取り、早急に迎えに来ていただく。

【火災時の対応】

子ども達の安全を第一に考え、速やかに避難し、設置してある消火器等を使って初期消火に努める。

火災の状況を把握し、「119」に通報する。

携帯電話、車両の鍵、貴重品、ケアに必要な物品を持ち出す。

避難場所：1くみ火災時は2くみへ、2くみ火災時は1くみへ向かう。

【体調急変時の対応】

◆子どもに、緊急対応シートに記載のある病状の急変が生じた場合は、速やかに依頼された対応を取る。その他の急変が生じた場合は、事業所が定める協力医療機関、子どもの主治医、救急への連絡等を行うとともに、保護者へ連絡する。

◆救急車を呼ぶほどではない異変時（軽い外傷等）

- ・保護者へ連絡し、対応を決める
- ・保護者に連絡がつかない場合は、デイの協力病院へ受診する

岡田整形外科内科病院 電話 052-652-5251

住所 名古屋市港区名四町185

名古屋掖済会病院 電話 052-652-7711

住所 名古屋市中川区松年町4丁目66番地